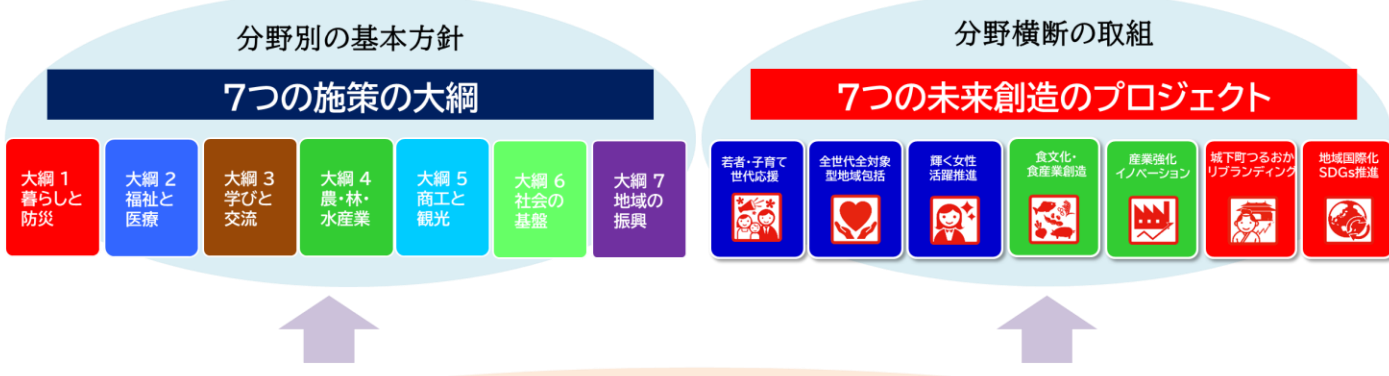


- ・社会経済情勢の変化や新型コロナウイルス感染症(ポストコロナ)を踏まえ、市民意識の変化や地域の実態、課題などを明確化
- ・これまでの施策の点検評価を行い、施策の方向性など総合計画審議会や専門委員会、地域振興懇談会、庁内等での議論を反映
- ・対話の場や、デジタルを活用したアンケート、参加者自らの学びや気づきに繋がるような勉強会、市民ワークショップなどにより、市民目線を重視

## 5つの加速化アクション（後期基本計画の推進に当たっての視点）

- ・現状に対応し、めざす都市像の実現のため特に重視すべき視点を設定。今後の基本的方向性を明確化
- ・「**施策の大綱**」や「**未来創造のプロジェクト**」を更に加速化して推進するため、特に重視すべき視点を「**5つの加速化アクション**」として位置づけ、施策の考え方に反映
- ・特に優先的かつ重点的に取り組むべき課題として紐づけ、関連施策を重点的・横断的に推進



### 5つの加速化アクション（「施策の大綱」や「未来創造のプロジェクト」の推進にあたり考慮する視点・考え方）

- ①若者・子育て世代に選ばれるまちづくり**  
～本市で活躍し、ここで暮らしたいという若者や、鶴岡で子育てをしたいという人を増やす～
- ②SDGs未来都市の実現**  
～誰一人取り残さず、市民が本来に幸せだと思えるまちの実現～
- ③産業振興と人材育成**  
～地域に根ざした産業の振興を進め、魅力的で多様な雇用の場を創出～
- ④交流人口の創出・拡大**  
～ひとの交わりを加速させ、移住者や関係人口を増やす～
- ⑤総合的なデジタル化戦略の推進**  
～デジタル技術を活用した施策の推進～

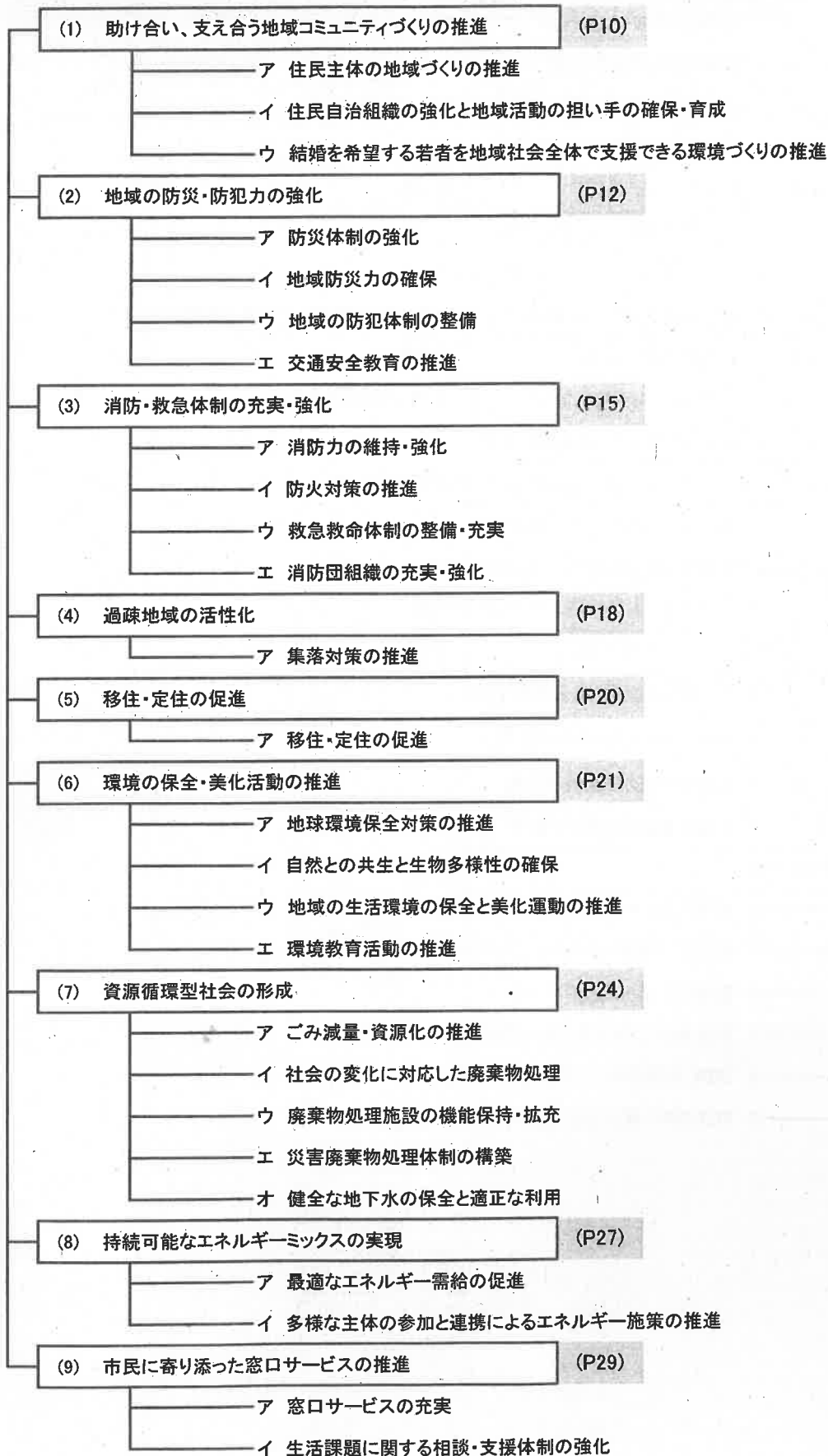
## 「5つの加速化アクション」として位置づける施策・取組例

加速化アクション	施策の方向（大綱の記載箇所）	主な施策・取組例
①若者・子育て世代に選ばれるまちづくり	子どもを産み育てやすい環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5から特定不妊治療の市独自の助成事業を実施しました</li> <li>・妊婦や低年齢期の家庭を対象とした伴走型相談支援を行います</li> </ul>
	若者の地元回帰・定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5に子どもの医療費の無償化を18歳まで拡大しました</li> <li>・学校給食費のさらなる負担軽減を検討します</li> </ul>
	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>「こどもまんなか」社会の実現に向けて、子どもへのアンケート実施、保護者からの意見聴取を基に、老朽化施設等への対応、遊び場の整備を推進します</li> </ul>
②SDGs未来都市の実現	奨学金返済支援制度などによる地元回帰・就職の促進（3（1）力）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「つるおかエール」による経済的支援に加えて、地域との繋がりを深め、地元回帰や定着を促す取組を実施します</li> </ul>
	「働く場所」として選ばれる地域づくり（5（3）ア）	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者地元定着・回帰促進事業、キャリア教育等を実施し、地元企業の採用力のさらなる向上を支援します</li> </ul>
③産業振興と人材育成	適正な教育環境の整備（3（1）エ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡型小中一貫教育基本計画を踏まえ、子どもにとって望ましい学校のあり方を調査・検討します</li> </ul>
	読書活動の奨励・推進（3（2）オ）、給食施設の整備（3（6）イ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の整備・運営についての構想を策定します</li> <li>・新学校給食センターについて整備を進めます</li> </ul>

加速化アクション	施策の方向（大綱の記載箇所）	主な施策・取組例	
②SDGs未来都市の実現	誰もが安心して暮らせる包括的支援体制の整備	持続可能な地域医療提供体制の確保（2（6）ア）	地域の医療提供体制の持続・発展のため、地域医療の機能分化・連携強化を促進します
		住民の参画と協働による誰もが支え合う地域共生社会の実現（2（3）ア）	重層的な相談支援体制を構築するとともに、災害時に自ら避難することが困難な要支援者を把握し、平時からの支え合いを推進します
		障害者の地域生活支援の環境整備と医療的ケアの充実（2（4）ア）	医療的ケア児及びその家族に対する支援を行います
	多文化共生の推進	国際化推進プランに基づく多文化共生のまちづくりと国際化の推進（3（8）ア）	やさしい日本語を含む多言語支援、生活相談の充実と、市民が異文化を学び・触れる機会を創出します
	資源循環型社会の形成	地球温暖化対策、二酸化炭素削減目標の実現（1（6）ア）や、ごみ減量・資源化の推進（1（7）ア）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策実行計画を見直し、地域ぐるみの取組を推進します</li> <li>・ごみの発生抑制と資源化を推進します</li> </ul>
③産業振興と人材育成	農業の生産拡大・所得向上と担い手の育成	域外や他業種からの新規参入者や農業を志す女性等、多様な担い手の育成・確保（4（1）ア）	鶴岡市新規就農者受入協議会及びSEADSの新規就農・地域定着機能の充実により、担い手の育成確保を推進します
		つるおかアグリプランに基づく農業産出額拡大と付加価値向上・販路拡大（4（3）ア）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食文化創造都市、鶴岡産農産物の魅力を国内外に発信し、販路拡大を図ります</li> <li>・在来作物の生産を支援し、販路の確保や種の継承を図ります</li> </ul>
	中小企業支援と産業人材育成・確保	企業の成長力と競争力強化（5（1）ア）  企業・事業所の立地・投資促進（5（1）イ）、起業・創業環境の充実（5（3）イ）、中小企業等の経営安定支援（5（1）エ）	労働力不足の解消や生産性の向上、事業の高度化などに資する取組を支援します  <ul style="list-style-type: none"> <li>・新産業団地整備を推進し、企業立地を促進します</li> <li>・創業支援体制等の強化により地域全体のビジネス力を向上させます</li> <li>・中小企業や小規模事業者の経営安定を支援します</li> </ul>
④交流人口の創出・拡大	中心市街地の活性化	中心市街地への多様な商業・サービス機能の集積促進（5（2）ア）	中心市街地将来ビジョン・中心市街地活性化基本計画に基づき今後のまちづくりを推進します
	戦略的な観光の展開	鶴岡ならではの魅力を活かした観光地域づくり、インバウンド誘客の推進（5（5）ア）	DEGAMの機能強化、中期観光戦略プランによりインバウンド誘客、認知度の向上を図ります
	移住・定住の促進	鶴岡ならではの魅力ある暮らしの発信等による移住・定住の促進（1（5）ア）	Uターンを希望する方の不安を軽減するため、相談業務や情報発信に関する専門職員の配置・対応により、移住・定住を促進します
⑤総合的なデジタル化戦略の推進	デジタルワンストップ	市民に寄り添った窓口サービスの推進、デジタル化によるサービス改善（1（9）ア）	マイナンバーカードを活用した各種証明のコンビニ交付やキャッシュレス決済など、窓口サービスを改善します
	ヘルスケア	デジタル技術を活用した保健指導（2（2）ア）や、子育て支援サービスの充実（2（1）ウ）	デジタルを活用した保健指導や各種子育てサービスの情報発信に努め、サービスの利用を促進します
	防災	デジタル技術を活用した防災体制の強化（1（2）ア）	緊急速報メールやスマートフォンなどのICTを活用した避難情報などを的確かつ迅速に伝達できる体制を整備します
	事務手続、業務効率化	デジタル化による事務手続の簡素化やサービスの充実（6（2）ウ）	ペーパーレス化、業務のフリーアドレス化等による効率化を促進します

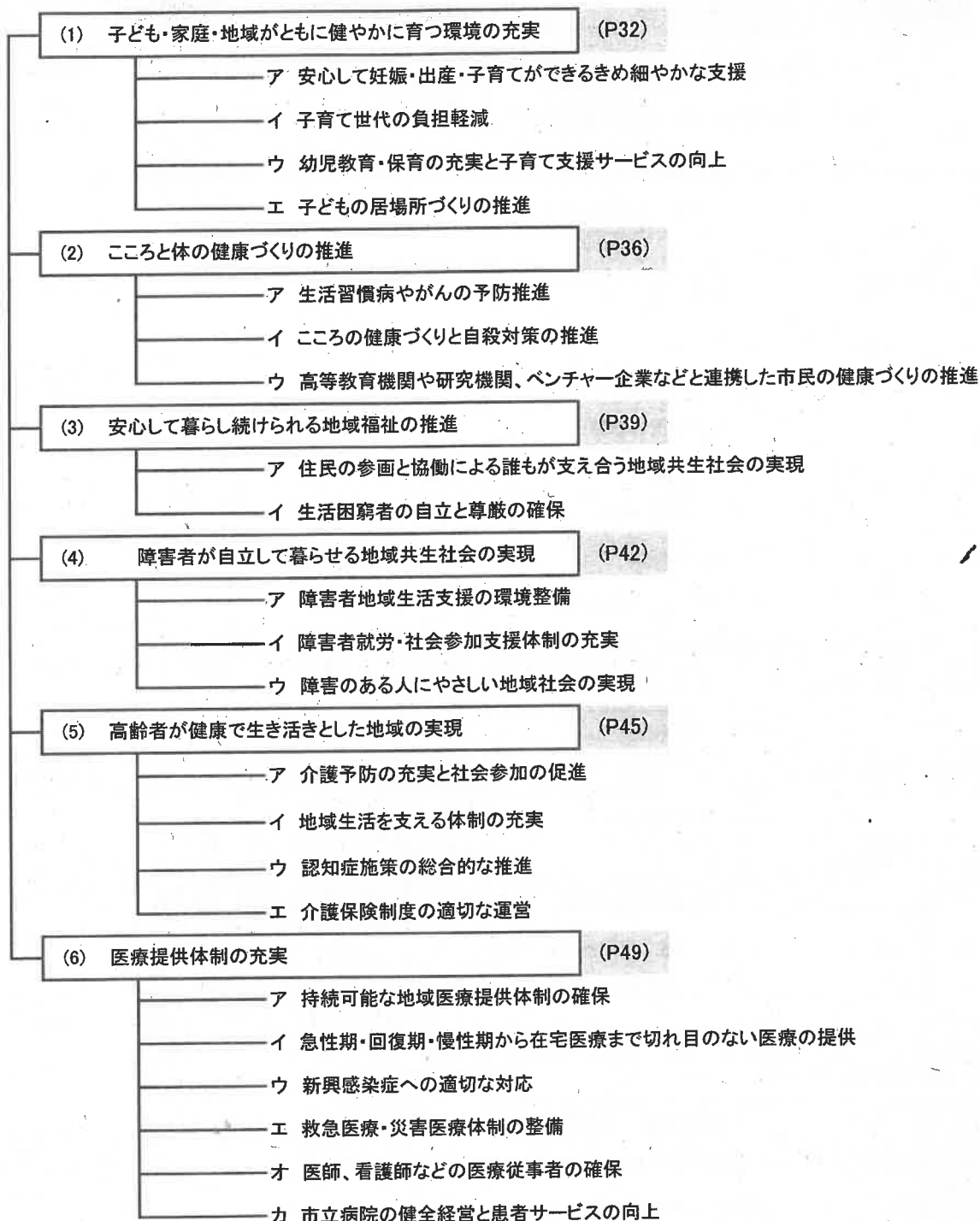
1 暮らしと防災

環境を保全し、一人ひとりが尊重され、心が通い合い、お互いを見守り支え合う、安全で安心して暮らせる地域コミュニティを構築します



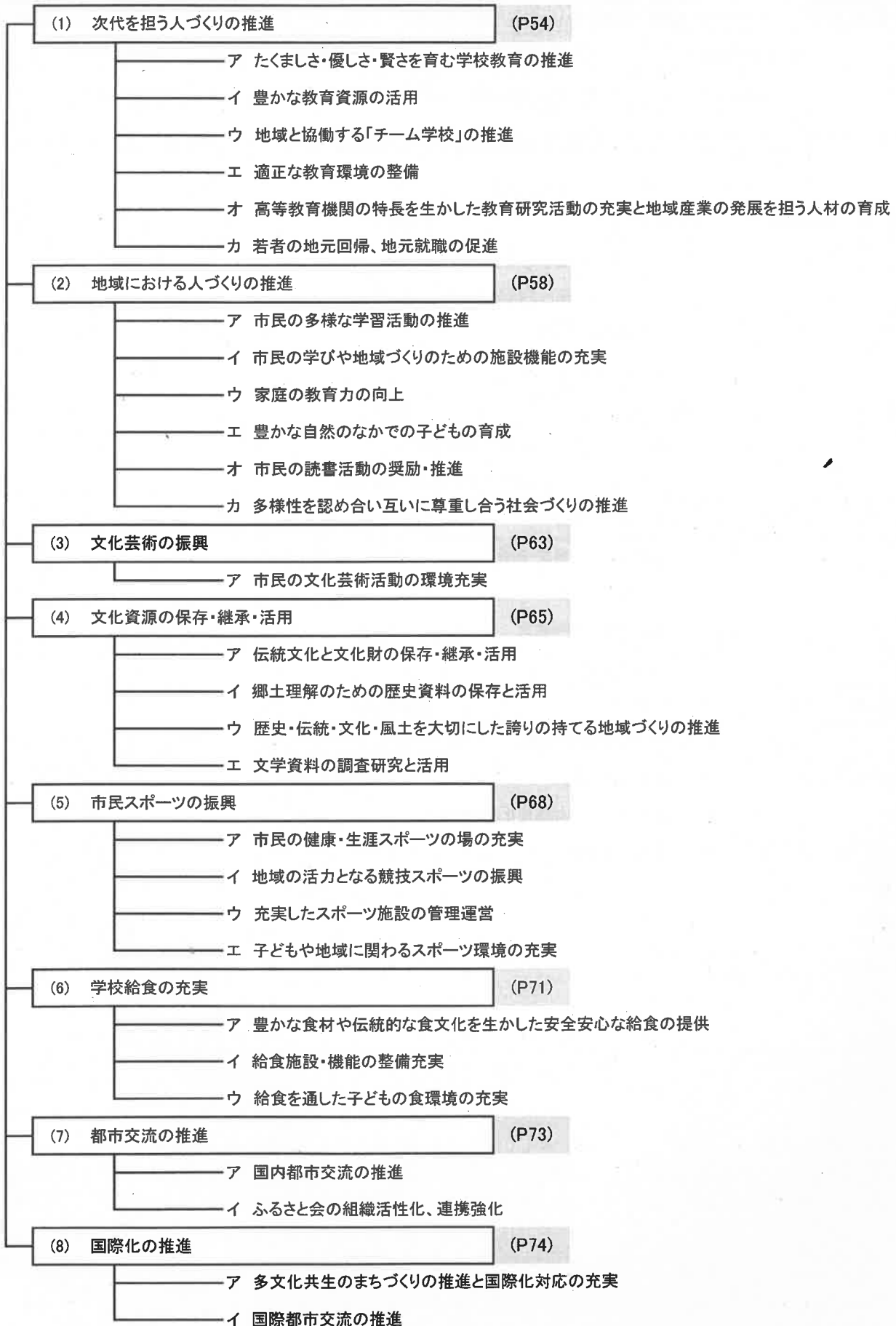
## 2 福祉と医療

地域の福祉や医療の充実を図り、市民一人ひとりが生涯を通じて安心して健やかに暮らすことができる社会を形成します



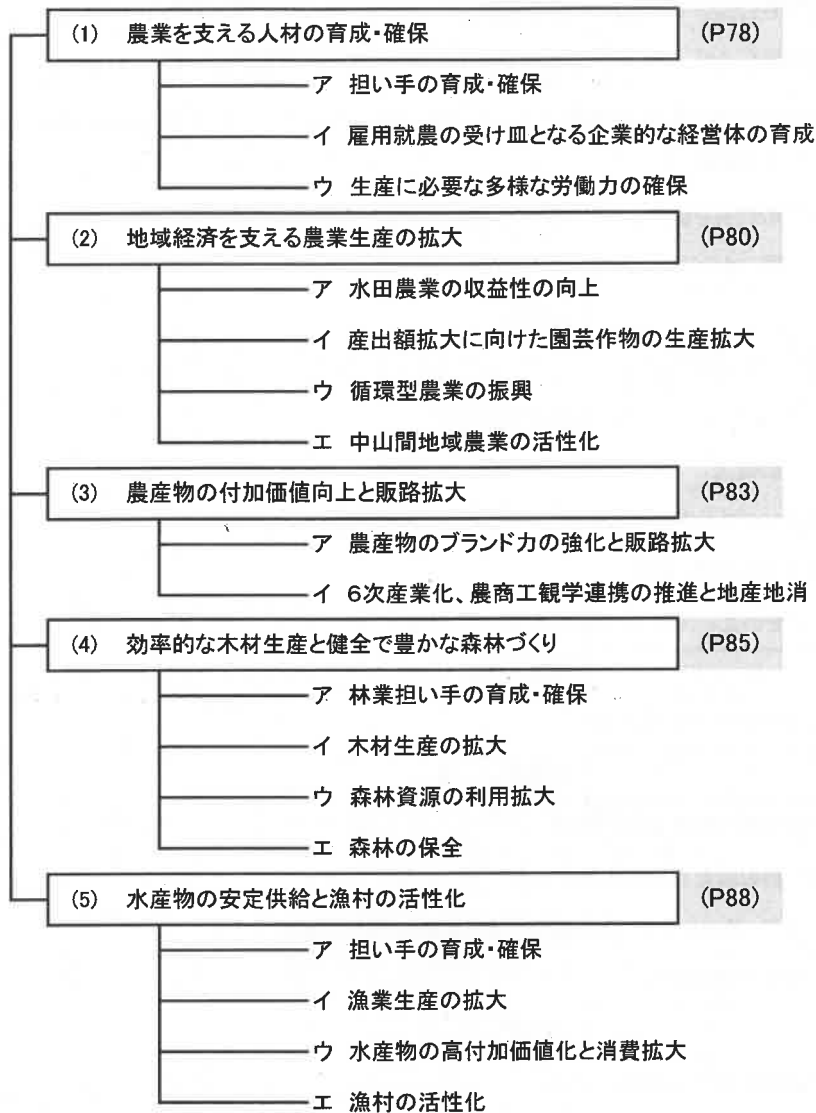
### 3 学びと交流

歴史と伝統に育まれた優れた文化のもと、ふるさと鶴岡を愛する、いのち輝く人を育て、歴史や文化でつながる交流を拓けます



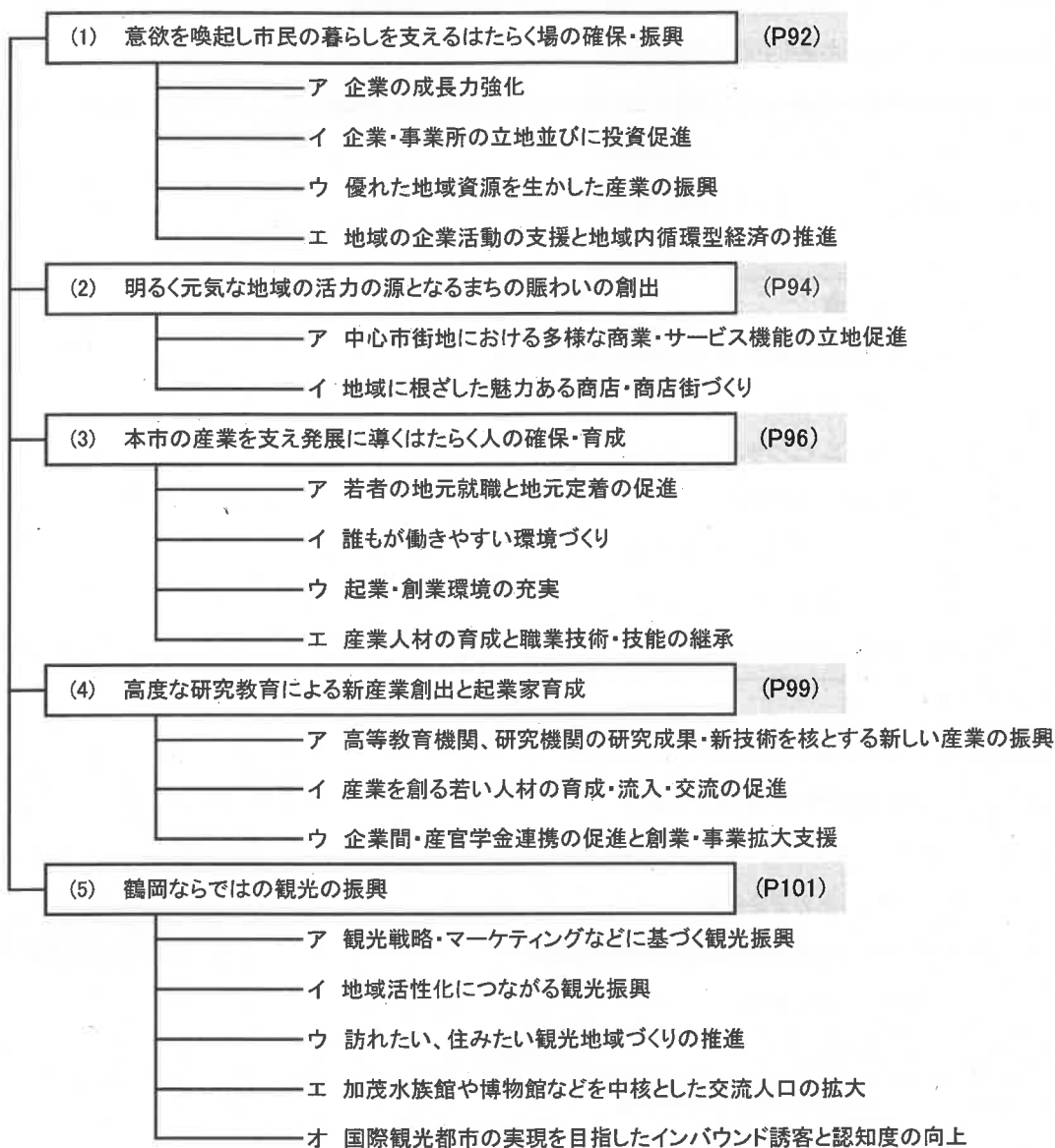
## 4 農・林・水産業

人が集い新しいことにチャレンジできる、魅力ある農山漁村を形成し、豊かな食文化を支える農林水産業の生産拡大と所得向上を実現します



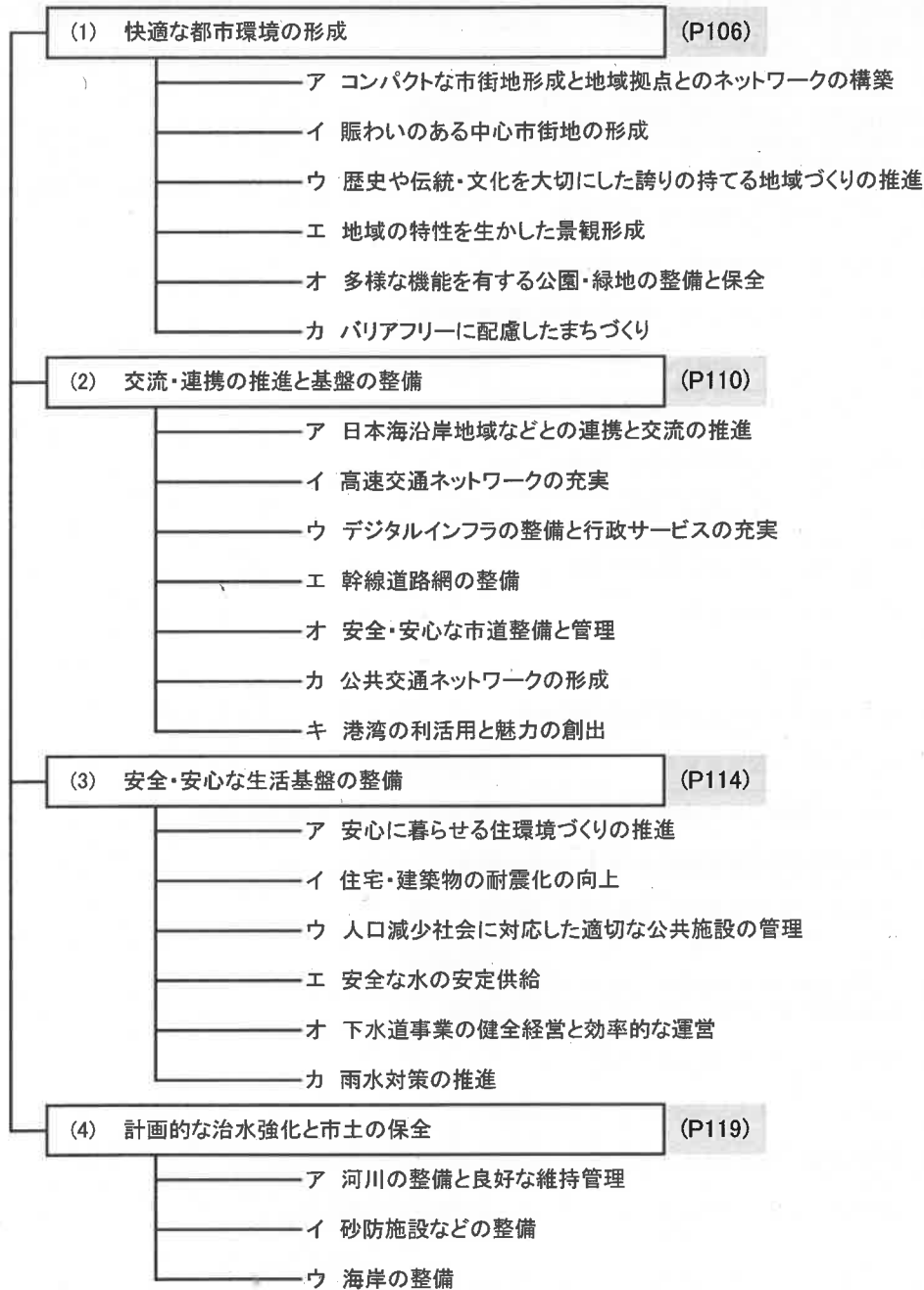
## 5 商工と観光

市民の暮らしを潤す力強い産業を振興し、人材を育てながら、国内外との往来・交流を活発化させ、多くの人を惹きつける地域をつくります



## 6 社会の基盤

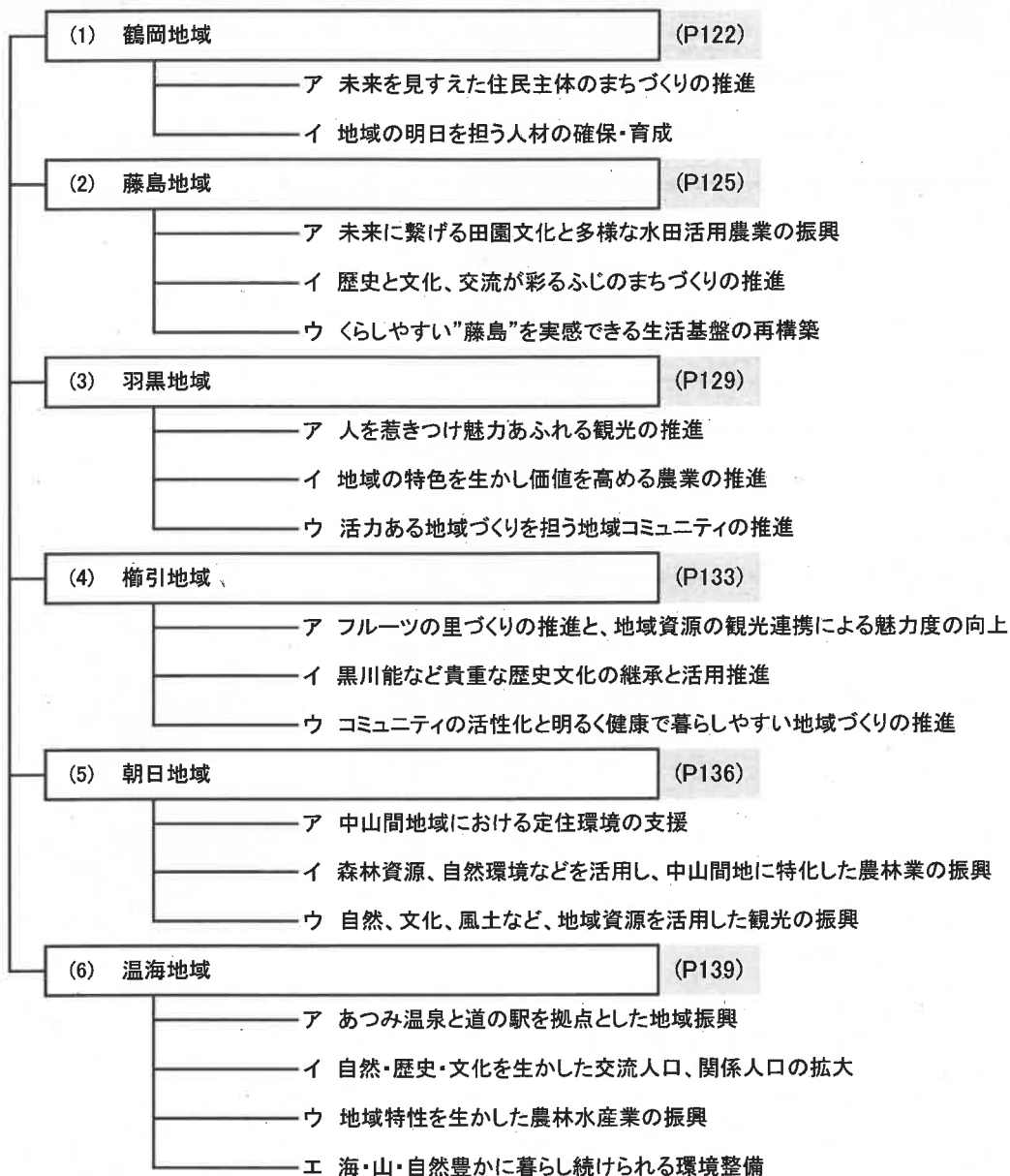
自然と都市が調和したコンパクトシティの形成を進め、交通や情報ネットワークの充実により市域内外の交流を促進しながら、誰もが安全で快適に暮らせるまちをつくります





## 7 地域の振興

各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います



## 未来創造のプロジェクト

- 若者・子育て世代応援プロジェクト (P145)
- 全世代全対象型地域包括ケア推進プロジェクト (P146)
- 食文化・食産業創造プロジェクト (P147)
- 産業強化イノベーションプロジェクト (P147)
- 城下町つるおかリブランディングプロジェクト (P147)
- 輝く女性活躍推進プロジェクト (P149)
- 地域国際化SDGs推進プロジェクト (P149)

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画 施策の方向・主な施策(案)

**7 地域の振興**

各地域固有の特性や地域資源を最大限に  
生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、  
安心して暮らし続けることができる地域  
づくりを行います

## (6) 温海地域

温海地域は、あつみ温泉に代表される観光資源や食文化、伝統文化、自然など多様な地域資源を有し、27集落がそれぞれの特性を生かした活動を展開してきました。地域資源を保存し継承するだけでなく、様々に組み合わせることで新たな価値を生み出し、地域住民がいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。

代表的な観光資源であるあつみ温泉については、温泉街の景観づくりや賑わいづくりを促進し、魅力ある温泉観光地をめざします。

日本海沿岸東北自動車道（以降「日沿道」）の延伸を契機として、地域産業の活性化や鼠ヶ関地域への誘客とその周辺への経済効果を生み出せるような取組を進めます。

豊富な地域資源を生かした体験型観光の推進や、多様な人材を地域づくりに生かす仕組みを構築し、交流人口や関係人口の拡大による地域活性化を図ります。

豊かな自然に生まれ、変化に富んだ地形と歴史に培われた農林水産資源や伝統産業を継承しつつ、温海地域独自のブランドと持続可能な営農体制を構築し、地域特性を生かした農林水産業の振興を推進します。

自然環境や地理的に不利な条件下でも、住民がいつまでも住み続けられるように、集落の自治機能の維持と生活環境の維持向上を図ります。また、地域への愛着を育む取組を進めるとともに次代を担う人材を育成します。

### ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興

#### ○施策の方向

あつみ温泉は、令和3年に開湯1200年を迎えた歴史ある温泉地です。令和元年10月には市内3カ所目の国民保養温泉地に指定されており、この知名度と地域資源を生かしながら、温泉街の賑わいづくりを創出します。また、官民が連携し、温泉街の観光施設や景観、環境の整備、魅力ある店舗づくりを進め「そぞろ歩き」を楽しめる温泉街として、日沿道開通後も通過点ではなく目的地となるよう魅力ある温泉観光地をめざします。

また、日沿道の延伸に伴い鼠ヶ関インターチェンジ（仮称）やその周辺に道の駅移転整備が計画されており、鼠ヶ関及び周辺地域の魅力向上による誘客促進と庄内浜産魚介類を活用した漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上を図り、地域経済に効果をもたらす取組を進めます。

#### ○主な施策

- ① あつみ温泉の観光資源である温海公園（あつみ温泉バラ園）の整備と足湯などの滞留拠点となる施設の改修、桜並木の維持や植栽の奨励による景観整備など、温泉街のクオリティを高める取組を進め、あつみ温泉の魅力の向上を図ります。

- ② あつみ観光協会、温海温泉旅館組合、地域住民、地域づくり団体や行政など多様な主体が連携し取り組む集客イベントの実施、朝市広場の有効活用や魅力ある店舗づくり等を支援し、あつみ温泉街の賑わいづくりを進めます。
- ③ 計画されている道の駅移転整備事業において、温海らしさを盛り込み地域産業の活性化につなげる取組を進めます。
- ④ 既存道の駅「あつみ」しゃりんの有効活用を検討し、誘客促進に取り組みます。
- ⑤ 漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上の取組を支援し、鼠ヶ関に観光客を誘導する仕組みづくりや観光地としての魅力づくりを進めます。

## イ 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大

### ○施策の方向

温海地域が有する豊富な自然や産業、伝統文化を活用した体験型観光や教育旅行の受入れを推進し、交流人口の拡大を図ります。また、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材を地域づくりに生かす仕組みを構築します。

### ○主な施策

- ① 体験型観光や教育旅行の受け入れなどの取組を支援し、交流人口の拡大を推進します。
- ② しな織を活用した交流人口拡大などを図るため、関川地区活性化計画※に基づく取組を支援します。
- ③ 地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材が、地域とつながり、支援できる仕組みづくりを進めます。

### ※関川地区活性化計画

本市関川地区において、しな織を活用した交流人口の拡大と地域産物の販売額増加による地域活性化を目的に2016(平成28)年4月に策定した計画

## ウ 地域特性を生かした農林水産業の振興

### ○施策の方向

豊かな自然や変化に富んだ地形、歴史を背景とした特色ある農林水産資源や焼畑などの伝統手法を守り継承しつつ、温海地域独自のブランドと持続可能な営農体制を構築します。また、新たな道の駅を視野に、少量多品種であっても稼げる仕組みづくりにより、地域特性を生かした農林水産業の振興を図ります。

貴重な地域資源である国指定の伝統的工芸品「羽越しな布※」の継承、振興を支援します。

### ○主な施策

- ① 古くから栽培されている在来作物などの栽培技術の継承や認知度向上を図ります。さらに「焼畑あつみかぶ」「越沢三角そば」等の在来作物のブランド力を高め、さらに販路を拡大する取組を支援します。
- ② 産直活動組織の活動を支援するとともに、少量多品種栽培を生かした農産物の生産振興を図ります。
- ③ 担い手となる経営体への農地集積を進め、持続可能な営農体制の構築を図ります。
- ④ 伝統的工芸品「羽越しな布」の振興を図るため、後継者育成や経営体制強化の取組を支援します。

### ※羽越しな布

本市関川地域と新潟県村上市雷、同山熊田の3地域で継承されているしなの木の樹皮を原料とした織物で、伝統的工芸品産業の振興に関する法律（昭和49年5月25日、法律第57号）に基づき、経済産業大臣より2005（平成17）年9月22日に「羽越しな布」として指定。

## エ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

### ○施策の方向

地域内の集落が有している特色ある自治機能を大切にし、それぞれの集落が将来にわたって自治機能を維持し、コミュニティ強化を図る取組を支援します。温海地域の自然環境や地理的条件を踏まえ、地域住民が安心して暮らし続けるために、地域に適した公共交通体系の構築やデジタル活用を進め、生活環境の維持向上を図ります。

また、少子高齢化が進む中で、高齢者が活躍する場の創出を図るとともに、教育環境の充実に取り組み、子育て世代に選ばれる魅力のある地域をめざします。

あわせて、地域内にある遊休資産を活用し、地域活力の創造につなげる取組を進めます。

### ○主な施策

- ① 将来にわたり持続可能な自治会機能等の維持強化を図るため、集落の将来像を示す集落ビジョンの策定を促し、住民同士の良好なコミュニケーションを醸成する取組を支援します。またビジョンに基づく自治機能や拠点施設の維持、地域コミュニティ活動の活性化を支援します。
- ② 温海地域内にある既存施設、遊休資産や空き家を利活用し、地域活力の創造につながる取組を推進します。
- ③ 住民の移動手段となる乗合タクシーの運行を支援し、地域に適した公共交通網の形成をめざします。あわせて、遠距離通学となっている高校生等世帯に対する支援やその手続きのデジタルワンストップ化により保護者の負担軽減を図ります。

- ④ 高齢者がこれまで培ってきた経験や能力を生かし、健康でいきいきと暮らせる環境づくりを推進します。
- ⑤ 誰もが住み慣れた地域でいつまでも生活できるように、地域住民と多様な主体の協働や共助による地域のささえあい活動を支援します。
- ⑥ 豊かな自然環境、伝統文化、産業など地域資源を活用し、保育園から中学校まで一貫した生きる力を育む教育（SEL<sup>※</sup>）を推進します。また、中学生を対象として、地域の人材やICTを活用し学習支援を行うあつみ地域未来塾の取組を支援するなど教育環境の充実を図ります。

### ※SEL（Social&Emotional Learning）

社会的能力と気持ちに関わる能力を伸ばす学び。子どもの自尊心、好奇心、発想力、想像力などを高め、学力だけでなく社会で生き抜く力、豊かで強い心を育む教育

### 施策の成果指標

項目(測り方)	現状値	成果指標(KPI)
あつみ温泉及び鼠ヶ関地区内観光施設の観光入込客数(道の駅含む)	478千人 (2017(平成29)年度)	820千人 (2028年度)
教育旅行受入れ学校数	2校 (日帰り) (2017(平成29)年度)	20校 (宿泊) (2028年度)
越沢三角そばの栽培面積	25,160 m <sup>2</sup>	150,000 m <sup>2</sup>
焼畑あつみかぶの出荷生産者数	73人 (2022(令和4)年度)	73人 (2028年度)
集落ビジョン策定自治会数	11自治会 (2018(平成30)年)	27全自治会 (2028年度)

#### [設定理由]

温泉街の景観整備や魅力向上、日沿道鼠ヶ関IC付近に計画されている道路休憩施設をはじめ周辺の魅力向上により、観光入込客数の増につながる。

魅力ある体験メニューの開発や受け入れ態勢の整備を進めることにより、温海地域を目的地とする教育旅行の誘致増加につながる。

在来作物の普及活動や栽培作業の軽減化、効率化等を進めることにより、栽培面積の拡大や栽培活動の継続が期待される。

特色ある自治機能を側面から支援する施策展開により、自治会内の話し合いの活発化や共助の機運の高まりが期待され集落ビジョンの策定につながる。



## 現状と課題

- 高い品質の農林水産資源
- 特色ある在来作物
- 各地に伝わる伝統・文化・歴史資源
- 高い集落自治機能
- あつみ温泉
- NPO等地域活動団体
- 豊かな自然環境

**少子・高齢化  
人口減少**

**地理的条件**  
(地域の9割が山林)

- 農業の規模拡大が困難
- 若者が働く場の不足
- 地域の実情に応じた移動手段が不足
- 地域コミュニティ基盤の脆弱化
- 商店・医療等生活サービス機能低下
- 介護人口の増加
- 土砂災害・津波等の災害リスクが高い

## 外部環境の変化

- 日本海沿岸東北自動車道
- デジタル化の進展**
- 関係人口の活用
- 新たな消費行動

## 地域の活性化

- 地域を支える人口
- 地域を支える経済
- 地域を支える環境
- 地域を支えるブランド・プライド

## 重点的課題・地域振興の方向

- ◆「日沿道を地域の活力につなげる」(地域資源を生かした産業振興)
- ◆「住み続けられる地域環境の形成」(地理的条件を踏まえた人口減少対策)
- ◆「人の力を生かした地域活力の向上」(多様な人材を生かした地域づくり)

## 鶴岡市 総合計画 施策の大綱

- 暮らしと防災
- 福祉と医療
- 学びと交流
- 農・林・水産業
- 商工と観光
- 社会の基盤
- 地域の振興**

### 1. あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興

- あつみ温泉街の魅力の向上
- あつみ温泉街の賑わいづくり
- 新「道の駅」を活用した地域振興
- 鼠ヶ関地内の賑わいづくり

### 2. 自然・歴史・文化を活かした交流人口・関係人口の拡大

- 交流人口の拡大による地域活性化
- 関係人口拡大の仕組みづくり

### 3. 地域特性を生かした農林水産業の振興

- 地域の食文化継承とブランド化
- 少量多品種栽培を生かした農産物の生産振興
- 持続可能な営農体制の構築
- 地域資源を活用した農村集落の活性化

### 4. 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備

- 地域コミュニティの基盤強化
- 資源を生かした地域活力の創造
- 地域に適した公共交通網の形成と通学環境整備
- 高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり
- 地域でささえあう環境づくり
- 地域で育む教育環境の充実

## 地域 まちづくり 未来事業



総合計画

地域振興計画

基本方針（小項目）	施策の方向	主な施策	具体的な施策
<p>1 あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興</p>	<p>あつみ温泉は、令和3年に開湯1200年を迎えた歴史ある温泉地です。令和元年10月には市内3カ所目の国民保養温泉地に指定されており、この知名度と地域資源を生かしながら、温泉街の賑わいづくりを創出します。また、官民が連携し、温泉街の観光施設や景観、環境の整備、魅力ある店舗づくりを進め「そぞろ歩き」を楽しめる温泉街として、日浴道開通後も通過点ではなく目的地となるよう魅力ある温泉観光地をめざします。</p> <p>また、日浴道の延伸に伴い鼠ヶ関インターチェンジ（仮称）やその周辺に道の駅移転整備が計画されており、鼠ヶ関及び周辺地域の魅力向上による誘客促進と庄内浜産魚介類を活用した漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上を図り、地域経済に効果をもたらす取組を進めます。</p>	<p><b>①あつみ温泉街の魅力の向上</b> あつみ温泉の観光資源である温海公園(あつみ温泉バラ園)の整備と足湯などの滞留拠点となる施設の改修、桜並木の維持や植栽の奨励による景観整備など、温泉街のクオリティを高める取組を進め、あつみ温泉の魅力の向上を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温海公園を改修し、安全性とクオリティの向上による観光振興</li> <li>・あつみ温泉足湯等公共空間の景観整備とクオリティ維持向上</li> </ul>
		<p><b>②あつみ温泉街の賑わいづくり</b> あつみ観光協会、温海温泉旅館組合、地域住民、地域づくり団体や行政など多様な主体が連携し取り組む集客イベントの実施、朝市広場の有効活用や魅力ある店舗づくり等を支援し、あつみ温泉街の賑わいづくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉街の集客を促進するイベントへの支援</li> <li>・そぞろ歩きを楽しむ温泉街の賑わい創出</li> </ul>
		<p><b>③新「道の駅」を活用した地域振興</b> 計画されている道の駅移転整備事業において、温海らしさを盛り込み地域産業の活性化につなげる取組を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温海地域産直活動組織の育成と取組への支援</li> </ul>
		<p><b>④既存「道の駅」の有効活用に向けた検討と施設整備</b> 既存道の駅「あつみ」しゃりんの有効活用を検討し、誘客促進に取り組めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅あつみでの商品開発や多様なイベントの開催</li> </ul>
		<p><b>⑤鼠ヶ関地内の賑わいづくり</b> 漁業のまち鼠ヶ関の知名度向上の取組を支援し、鼠ヶ関に観光客を誘導する仕組みづくりや観光地としての魅力づくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅での地元水産物販売の取組への支援</li> <li>・鼠ヶ関水産イベントへの誘客と滞在型観光の促進</li> </ul>
<p>2 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大</p>	<p>温海地域が有する豊富な自然や産業、伝統文化を活用した体験型観光や教育旅行の受入れを推進し、交流人口の拡大を図ります。また、地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材を地域づくりに生かす仕組みを構築します。</p>	<p><b>①体験型旅行による交流人口の拡大</b> 体験型観光や教育旅行の受け入れなどの取組を支援し、交流人口の拡大を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行や体験型観光の誘致促進</li> </ul>
		<p><b>②地域資源の活用による交流人口の拡大と地域活性化</b> しな織を活用した交流人口拡大などを図るため、関川地区活性化計画※に基づく取組を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関川地区活性化計画の取組への支援</li> </ul>
		<p><b>③関係人口拡大の仕組みづくり</b> 地域を離れた人材や地域と多様な関わりや想いを持つ人材が、地域とつながり、支援できる仕組みづくりを進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係人口の創出と拡大の仕組みづくり</li> </ul>

基本方針（小項目）	施策の方向	主な施策	具体的な施策
<p>3 地域特性を生かした農林水産業の振興</p>	<p>豊かな自然や変化に富んだ地形、歴史を背景とした特色ある農林水産資源や焼畑などの伝統手法を守り継承しつつ、温海地域独自のブランドと持続可能な営農体制を構築します。また、新たな道の駅を視野に、少量多品種であっても稼げる仕組みづくりにより、地域特性を生かした農林水産業の振興を図ります。</p> <p>貴重な地域資源である国指定の伝統的工芸品「羽越しな布※」の継承、振興を支援します。</p>	<p>①<b>地域の食文化継承とブランド化</b> 古くから栽培されている在来作物などの栽培技術の継承や認知度向上を図ります。さらに「焼畑あつみかぶ」「越沢三角そば」等の在来作物のブランド力を高め、さらに販路を拡大する取組を支援します。</p> <p>②<b>少量多品種栽培を生かした農産物の生産振興</b> 産直活動組織の活動を支援するとともに、少量多品種栽培を生かした農産物の生産振興を図ります。</p> <p>③<b>持続可能な営農体制の構築</b> 担い手となる経営体への農地集積を進め、持続可能な営農体制の構築を図ります。</p> <p>④<b>地域資源を活用した農山村集落の活性化</b> 伝統的工芸品「羽越しな布」の振興を図るため、後継者育成や経営体制強化の取組を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在来作物「焼畑あつみかぶ」の生産振興</li> <li>・在来作物「越沢三角そば」の生産振興</li> <li>・小規模な農地等で栽培されている少量多品種農産物の生産振興</li> <li>・温海地域産直活動の育成と取組への支援（ア③再掲）</li> <li>・温海地域での土地利用型農業の生産性向上</li> <li>・伝統的工芸品の伝承と地場産業の振興</li> </ul>
<p>4 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備</p>	<p>地域内の集落が有している特色ある自治機能を大切に、それぞれの集落が将来にわたって自治機能を維持し、コミュニティ強化を図る取組を支援します。温海地域の自然環境や地理的条件を踏まえ、地域住民が安心して暮らし続けるために、地域に適した公共交通体系の構築やデジタル活用を進め、生活環境の維持向上を図ります。</p> <p>また、少子高齢化が進む中で、高齢者が活躍する場の創出を図るとともに、教育環境の充実に取り組み、子育て世代に選ばれる魅力のある地域をめざします。</p> <p>あわせて、地域内にある遊休資産を活用し、地域活力の創造につなげる取組を進めます。</p>	<p>①<b>地域コミュニティの基盤強化</b> 将来にわたり持続可能な自治会機能等の維持強化を図るため、集落の将来像を示す集落ビジョンの策定を促し、住民同士の良好なコミュニケーションを醸成する取組を支援します。また、ビジョンに基づく自治機能や拠点施設の維持、地域コミュニティ活動の活性化を支援します。</p> <p>②<b>資源を生かした地域活力の創造</b> 温海地域内にある既存施設、遊休資産や空き家を利活用し、地域活力の創造につながる取組を推進します。</p> <p>③<b>地域に適した公共交通網の形成と通学環境整備</b> 住民の移動手段となる乗合タクシーの運行を支援し、地域に適した公共交通網の形成をめざします。あわせて、遠距離通学となっている高校生等世帯に対する支援に取り組み、その手続きのデジタルワンストップ化により保護者の負担軽減を図ります。</p> <p>④<b>高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり</b> 高齢者がこれまで培ってきた経験や能力を生かし、健康でいきいきと暮らせる環境づくりを推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温海地域集落ビジョン策定の支援</li> <li>・地域コミュニティの活動への支援</li> <li>・地域コミュニティ活動拠点整備への支援</li> <li>・遊休資産を活用した地域活力創造の支援（民間活用）</li> <li>・乗合タクシーの運行事業の支援</li> <li>・遠距離通学となっている高校生等世帯への支援</li> <li>・高齢者のいきいきづくり・健康づくりの推進</li> <li>・身近な通い場づくりの支援</li> </ul>

基本方針（小項目）	施策の方向	主な施策	具体的な施策
4 海・山・自然豊かに暮らし続けられる環境整備（つづき）		<p>⑤地域でささえあう環境づくり            誰もが住み慣れた地域でいつまでも生活できるように、地域住民と多様な主体の協働や共助による地域のささえあい活動を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ささえあい活動の推進</li> </ul>
		<p>⑥地域で育む教育環境の充実            豊かな自然環境、伝統文化、産業など地域資源を活用し、保育園から中学校まで一貫した生きる力を育む教育（SEL※）を推進します。また、中学生を対象として、地域の人材やICTを活用し学習支援を行うあつみ地域未来塾の取組を支援するなど教育環境の充実を図ります。</p> <p>※SEL（Social&amp;Emotional Learning）            社会的能力と気持ちに関わる能力を伸ばす学び。子どもの自尊心、好奇心、発想力、想像力などを高め、学力だけでなく社会で生き抜く力、豊かで強い心を育む教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きる力を育む教育の推進</li> <li>・地域の教育環境の充実</li> </ul>